



2013年5月9日 第2013-25号

【発行】 J A M

【発行責任者】 宮本 礼一

【編集】 政策・政治グループ

TEL 03-3451-2425

E-Mail : seisaku.seiji@jam-union.jp

## 日雇い派遣の原則禁止などで丸川政務官を追及

津田やたろう参議院議員は、4月25日に開かれた厚生労働委員会で丸川珠代厚生労働政務官に日雇い派遣の原則禁止に関する認識と、人材派遣業のヒューマンラスト社社長との対談が、2月25日付の日経新聞に1面広告で

掲載された問題を追及。また、26日の予算委員会では、安全に関連して、橋梁などの維持・管理などで価格のみでなく相応の技術を持つ業者が適正な価格で受注できるよう入札システムを改善すべきと質した。

津田議員は質問冒頭「必要な法案審議が丸川政務官の疑惑問題でできない状況だ「猛省を求め」と誠実な対応をまず要求した。

4月25日・厚生労働委員会

### 【日雇い派遣の原則禁止について】

**津田議員）** 日雇い派遣で原則禁止となったのは何か。31日の派遣契約で1日しか実際に仕事をしなかったら残りの日数を派遣元はどうすべきか。

**丸川政務官）**（答えられず、議事ストップ）。

**津田）** 31日未満の労働契約が原則禁止だ。これは厚労省のホームページに特出しで掲載されている。31日以上派遣契約で実際の派遣が1日しかなかった場合、残りの日数は4月に職業安定局から出た取扱要綱にはたとえば安全教育など適切な雇用管理が必要と明記されている。担当政務官でありながら知らないのか！

**津田）** 改正派遣法が施行されて半年。最近企業と労働者が直接契約する形をとっているものの、実質形を変えた禁止された日雇い派遣など脱法的なものもある。労働者保護のための雇用管理がされているかどうか大規模な調査が必要ではないか。

**丸川）** 改正法の説明会で周知を図っている。

**津田）** 脱法的行為が行われていることを危惧し、調査するか否かを聞いている。派遣労働者が使い捨てにされている状況に対し、ちゃんとやるべきだ。

**津田）** 丸川政務官は日雇い派遣禁止に反対してきた理由として、自分は派遣会社の応援団ではない、派遣労働者の声なき声を代弁すると言い、その論拠として日雇い派遣禁止に反対する派遣労働者の労働組合が日雇い派遣や製造業への派遣禁止に反対であるという趣旨のことを言っているが、それはどういう組合か。

**丸川）** 具体的には言えない。

**津田）** 実在するのかも分からないのでは、どこの誰が出したとか分からない怪文書と同じではないか。衆議院予算委員会で政務官として答弁したことに答えられないのか、雇用・労働を担当する政務官として不適切だ。

---

### 【ヒューマンラスト社社長との対談について】

**津田)** 丸川政務官が出演したヒューマンラスト社の広告下部に、派遣労働者を「猫の手」に例えた表現があり、これは派遣労働者に失礼だと認め、ヒューマンラスト社に「よくお伝えしておきたい」と答弁したが、どう伝えたのか。

**丸川)** 『猫の手』貸します」の表現については、3月28日の委員会後、事務所の者がヒューマンラスト社に電話をかけて答弁内容を伝えた。ヒ社の対応は「わかりました」ということであった。

**津田)** 大事な問題を電話で済ました。丸川政務官がヒ社へ行って抗議すべきものではないのか。事務所の者がヒ社の誰かも分からない者に電話した。ヒ社の対応も分からない。講義もしていない。丸川政務官は本当に反省しているのか。派遣労働者をはじめ厳しい環境で働いている人に謝罪すべきだ。

**津田)** ヒューマンラスト社とこの広告を企画したという日経クロスメディアに対し参考人としての出席を求めたが、両社とも拒否してきた。そこで事実関係を明らかにするため、①対談は日経クロスメディアの発案とされているが事実か。②政務官が自らの所管する業界の一企業の広告に出演することに問題は感じなかったのか。③1千万～2千万円の広告掲載料をヒ社が負担した理由など両社に文書による回答を求める。

また、4月24日付の読売・毎日・東京・日経・サンケイ新聞の東京版に東京医師会名による武見敏三参議院議員の対談広告が掲載されている。内容は自分の法定ビラに使えるもの。なぜ日本医師会ではなく東京医師会か？1億円近い費用をかけてなぜこんなものを出しのか、これは丸川政務官と同じ、今年の7月に行われる参議院選挙で同じ東京選挙区から競争相手として立候補するからだ。これが横行するなら、資金が潤沢な支持団体を持つ候補はメディアを使って売名行為ができるとことにならないか。こういう状況を生み出した丸川政務官は恥を知るべきだ。

### 4月26日・予算委員会

#### 【安全について】

**津田)** 2月22日の本委員会で太田国交大臣は道路・橋などの維持管理・更新は技術がないものが落札したのでは極めて危険と答弁した。2カ月を経過し前進したのか。

**太田国交大臣)** 技術のある業者が適正な価格で受注できるシステム作りへワーキンググループを立ち上げた。また、入札の予定価格の積算に用いる労務単価を15%、被災地では20%引き上げた。現場の技能労働者にしっかり反映されるよう周知に努めるなど前進している。

**津田)** この業界は一次から4層5層の下請け構造がある、その底までの徹底を。

#### 【政務三役の広告出演問題について】

**津田)** 丸川政務官と武見議員(自民党)の新聞広告について、二人の共通点は何か。

**菅官房長官)** よく分からない。

**津田)** 第23回参議院選挙東京選挙区の立候補予定者だ。丸川政務官が担当分野の一企業の広告に出演したことは極めて問題だと指摘したが、政府の中ではおとがめなしで今日に至っている。安倍総理は自分が出ないと答弁したが、その真意は、自分が出ないが他の閣僚は自由ということか。

**菅)** 政務三役は大臣・政務官規範に従って行動することになっている。それに従って欲しいというのが総理の趣旨だ。

**津田)** 正にその通り、こんな広告が出始めたら、また政治にお金がかかってしまうことになる。

以上